

# 検査事項の精査について (案)

平成 28 年 12 月 22 日  
統計の精度向上及び推計方法改善 WG

以下の検査事項について、内容を更に精査する。

## 1. 見える化状況検査の非標本誤差に関する事項について (第 2 回 WG 資料 P15 及び 16 の一部)

### <第 2 回 WG 資料>

統計精度に関する情報開示基準 (案)	
検査事項	検査内容・情報開示方法
<b>基本統計</b>	
基本統計 (検査項目: 非標本誤差)	
検査事項	検査内容
0	基本統計に関する説明がない。
1	基本統計の枠組(サンプルサイズ、一次抽出単位の数、ロテーションの状況等)が簡潔に説明されている。
2	基本統計の枠組(非標本誤差の発生に必要な方法、一次抽出単位の構成と推定方法等)が説明されている。
3	基本統計について、非標本誤差が何であるか、詳細に説明されている。
<b>信頼性調査</b> (調査方法)	
0	データ収集に関する説明がない。
1	データ収集の特徴(郵送、オンライン、訪問等)が簡潔に説明されている。
2	データ収集方法がより詳細に説明されている。
3	未回答、アンダーカバレッジ、回答のばらつき等を減らすために実施されるデータ収集の措置(電話方法等)が説明されている。
<b>推計方法</b>	
0	推計に関する説明がない。
1	推計の枠組(枠組等)を含む、以下同様、が簡潔に説明されている。
2	推計方法の調整など、異種推計方法が説明されている。
3	推計方法について、推計が何であるか、詳細に(欠損値処理等の処理等)説明されている。

基本統計	
検査事項	検査内容
0	基本統計に関する説明がない。
1	基本統計の枠組の1つとして説明されている。
2	代表値と推定値に対して基本誤差(数量)が示されている。その計算方法が説明されている。
3	(注)全ての推定値に対して基本誤差(数量)が示されている。その計算方法(モデル等)が説明されている。
<b>信頼性調査</b> (調査方法)	
0	データの信頼性(枠組等)や推定分布状況を含む、以下同様、に関する説明がない。
1	データの信頼性に関する簡潔な説明がされている。
2	データの信頼性に関する簡潔な説明がされている。
3	データの信頼性に関する簡潔な説明がされている。

※ この他に公開状況を確認すべきものはない。

**期待される効果**

- ◆ 基準が明確化されること、及び優良事例が明確化されるため、各府省の情報公開に対する自主的な改善の取組が期待できる。
- ◆ 検査官とコミュニケーションをとることで、開示コンテンツに関するアドバイスを受けることができ、経験の深い職員でも情報公開の対応が進みやすい。

今後精査を行い次回の WG に修正案を示す。

### <精査理由>

当該基準は、米国基準等を転用したものであるが、統計間での差異が明らかになるような基準に見直すことで、優良事例を明確にし、改善の効果をさらに高める必要があると判断されるため。

## 2. 見える化状況検査の上記1.以外の事項について

別添のとおり修正を行う。

### <精査理由>

現在の各府省が取組を進めている「公的統計の品質保証に関するガイドライン」(平成22年3月31日各府省統計主管課長等会議申合せ)と整合を図るため。

## 3. 回収状況検査について

(第2回WG資料P17)

標準検査(2)(回収状況検査)

検査基準、検査内容

検査基準

検査の対象となった統計調査の回収率が、同様の調査手法、調査対象である他の統計調査と比較して明らかに低いと判断される場合、比較した他の統計調査における情報(回収率向上方策)を提示し、同様の取組ができないか確認する。

期待される効果

◇ 検査官とコミュニケーションをとることで、経験の浅い職員でも優良事例の情報を得やすく、効果的に対応できる可能性が高まる。

17

今後精査を行い次回のWGに修正案を示す。

### <精査理由>

- ・第3回WGにおいて、日本銀行より、督促の頻度、オンライン調査、報告者負担軽減の実施状況、公表までの期間など幅広い視点でチェックすべきと指摘されたこと。
- ・回収率の向上は現実的に限界がある(100%は困難)。そのため回収標本の特性分析などの検証との組み合わせが精度向上のためには必要であると判断されること。
- ・優先的に精度向上が期待されるものは基幹統計調査と想定される場所、基幹統計調査の回収率は統計調査の中では優良であり、前回WGで記載した内容では、効果が見込まれないこと。

# 見える化状況検査 評価基準 新旧対照表 (案)

別添

## 標本設計

変更案		10月28日WG資料	
0	標本設計に係る説明がない。	0	標本設計に係る説明がない。
1	標本設計の特徴（サンプルサイズ・ <u>抽出率</u> 、一次抽出単位の数、ローテーションの状況等）が簡潔に説明されている。	1	標本設計の特徴（サンプルサイズ、一次抽出単位の数、ローテーションの状況等）が簡潔に説明されている。
2	標本設計の方法（ <u>目標精度</u> 、一次抽出単位の層化の変数と方法、一次抽出単位内での層化と抽出方法、 <u>重複是正措置実施の有無</u> 等）が説明されている。	2	標本設計の方法（一次抽出単位の層化の変数と方法、一次抽出単位内での層化と抽出方法等）が説明されている。
3	標本設計について、標本抽出が再現できるほど、詳細に説明されている。	3	標本設計について、標本抽出が再現できるほど、詳細に説明されている。

## 情報収集方法（調査方法）

変更案		10月28日WG資料	
0	データ収集に係る説明がない。	0	データ収集に係る説明がない。
1	データ収集の特徴（郵送、オンライン、訪問等）が簡潔に説明されている。	1	データ収集の特徴（郵送、オンライン、訪問等）が簡潔に説明されている。
2	データ収集方法の <u>詳細（実施系統・実施の流れ、作業スケジュール等）</u> がより詳細に説明されている。	2	データ収集方法がより詳細に説明されている。
3	非回答、アンダーカバレッジ、回答のばらつき等を減らすために講じられるデータ収集の措置（ <u>調査の代替・補完として用いる行政記録情報、事務処理の基準、秘密保護のための措置、督促方法等</u> ）が説明されている。	3	非回答、アンダーカバレッジ、回答のばらつき等を減らすために講じられるデータ収集の措置（督促方法等）が説明されている。

## 集計・推計方法

変更案		10月28日WG資料	
0	<u>結果（参考系列等を含む。）の集計・推計に係る説明がない。</u>	0	推計に係る説明がない。
1	<u>集計・推計の特徴（速報・確報の違い等参考系列を含む。以下同様。）が簡潔に説明されている。</u>	1	推計の特徴（参考系列を含む。以下同様。）が簡潔に説明されている。
2	非回答の調整、 <u>季節調整情報、実施系統・実施の流れ、作業スケジュール</u> など、具体的な <u>集計・推計方法</u> が説明されている。	2	非回答の調整など、具体的な推計方法が説明されている。
3	<u>集計・推計方法</u> について、結果が再現できるほど、詳細に（欠測値や外れ値の処理等）説明されている。	3	推計方法について、結果が再現できるほど、詳細に（欠測値や外れ値の処理等）説明されている。

## 標本誤差

変更案		10月28日WG資料	
0	標本誤差に係る説明がない。	0	標本誤差に係る説明がない。
1	標本誤差が誤差の1つとして説明されている。	1	標本誤差が誤差の1つとして説明されている。
2	代表的な推定値に対して標本誤差（数値）が示されている。その計算方法が説明されている。	2	代表的な推定値に対して標本誤差（数値）が示されている。その計算方法が説明されている。
3	（ほぼ）全ての推定値に対して標本誤差（数値）が示されている。その計算方法（モデル等）が説明されている。	3	（ほぼ）全ての推定値に対して標本誤差（数値）が示されている。その計算方法（モデル等）が説明されている。

## 他統計との比較・分析

変更案		10月28日WG資料	
0	他の類似統計（参考系列や標本分布状況を含む。以下同様。）に係る説明がない。	0	他の類似統計（参考系列や標本分布状況を含む。以下同様。）に係る説明がない。
1	他の類似統計との差異について説明がなされている。	1	他の類似統計との差異について説明がなされている。
2	他の類似統計との比較を示す表や図がある。	2	他の類似統計との比較を示す表や図がある。
3	他の類似統計との詳細な比較分析が行われ、その結果が公開されている。	3	他の類似統計との詳細な比較分析が行われ、その結果が公開されている。